

平成22年度実施分 市民活動助成事業評価審査(総評まとめ)

2011.6.17

NO	団 体 名	事業名	総評まとめ
1	クリニカルアートをひろげる会	芸術による認知症予防及び進行抑制の為の事業と、子どもの豊かな感性を育む為の事業	NPOや大学とつながりを持てた点、高齢者施設に出向きオファーが来るなどの実績は評価できます。アートと福祉とが融合した活動はなじみがないので分かりにくいですが、市の助成制度を使ったことで信頼を得、効果や関心が喚起されたと思います。スタートしたばかりなので今後に期待します。
2	松風の会	まつどのアートな場所マップの制作	アートな視点でのマップは新しいので評価できます。しかし広告費が取れなかったのは効果や使われ方がわかりづらいからだったのではないのでしょうか。ボリュームと認知されるまでのアプローチが足りないのでは、他団体との連携やアートを切り口にした松戸の活性化、松戸の伝統工芸に関わる人とのつながりなど、次のステップに期待します。
3	松戸里やま応援団一起の会	八ヶ崎の森再生整備事業	市の仲介で地権者と市民活動を結び付け、活動成果によって地権者との信頼関係を築くことができた「市民活動の基礎教材」と呼べるような、モデルケースとなる取り組みです。協働事業へ発展することを期待します。
4	バリアフリーまつど市民会議	バリア・バリアフリー体験教室・まち探検推進事業	本来は市が率先して始めなくてはいけないことなので、協働事業への発展を期待します。また、団体は市と協働するポイントを考えて欲しいと思います。
5	NPO法人子どもとまつど	手と手で話そう	問題の立て方がよく、素晴らしい活動内容だと思います。ろうあ協会との打ち合わせの件など、実行していく中で、反省点や学んだことを次のステップとして活動につなげて欲しいと思います。
6	NPO法人風の子サークル	子育ての根っこを育てよう！親子広場「風の子ルーム」	「わらべうた」というコミュニケーションツールを使っているのが良いと思いました。ほかのサークルと連携して広げる工夫が欲しいと思います。また、親子DE広場等の公金でやっている事業との違いは、行政の枠にとらわれない自由さがあるところなので、もっと違いを出して欲しいと思いました。
7	特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど	たすけあい・よろず相談員制度の必要性調査	事前調査で活動のニーズや検討要素を把握するマーケティングの基本を実施した手堅い取り組みを評価します。今後、調査した結果をどう活用するか、出てきた課題について解決する方向に向けた具体的なプランを立て、どう活かすかなど具体的な事業展開に期待します。
8	松戸里やま応援団「小浜の森の会」	小浜屋敷の森 保全育成事業	地権者、行政と連携して、よい関係をつくり事業を進めている点が評価できます。団体同士の連携を進めるなど、今後の活動の広がりに期待します。

NO	団体名	事業名	総評まとめ
9	TEAMりぼん	医療セミナー	行政の助成制度を使ったことで、公平な立場の医療セミナーが開催できたことが成果です。今後は市の医師会やがん予防に関連する団体等との連携を取って活動の幅を広げてもらいたいと思います。
10	まつどサロンネットワーク	まちづくりコラボサロン	コアになる人が10名確保できたことは評価できます。 何をどうする活動なのか分かりづらかったですが、市民活動の入口としての設定は面白く、主催者のコーディネート力が成否の鍵になります。
11	景観色彩を考える会・まつど	あなたのまちカラーウォッチング事業	景観色彩という切り口は都市計画的な意味合いもあり面白いですが、残念なところは実際の活動と成果が期待通りではなかったことです。活動としては「このストリートはこういう色彩で整えたらどうか」など、市民提案的なアウトプットや、松戸市の景観計画につなげて欲しいと思います。
12	特定非営利活動法人子ども環境を守る会Jワールド	Jキッズ 子どもまつり	4つの小学校へチラシ配布ができたことは成果の一つです。今後、事業を進めていく上でこの取っ掛かりを活かして、いかにして学校・地域との関係をつくっていくかが課題です。
13	特定非営利活動法人さわやか福祉の会松戸くらしの助っ人	外出困難者と共に風の中へ	ボランティアの確保とトイレの情報の確認に力を入れたことは評価できます。 障害者だけでなく高齢者を対象としたことは共感もてます。 民間の助成金を活用し、車椅子利用者だけでなく介護に疲れた高齢者を外出させるなど、事業の広がり期待します。お互いの緩やかな関係をつくりたい、というプランの見直しをすれば、民間の助成金を取りやすいのではないかと思います。
14	松戸生活やくだちたい	生活に役立つ「暮らしとお金」のセミナーと相談会	公平な立場での金融セミナーであり、ファイナンシャルプランナーの資格を持った団体ということで、安心して参加できる事業です。 大企業は退職前に資金運用等の説明会がありますが、中小企業はあまり行われていません。商工会議所や他団体と組んで中小企業を対象にした講座等を企画すれば広がっていくのではないかと思います。
15	松戸手作り甲冑愛好会	手作り甲冑普及事業	甲冑の出来ばえはとても立派なものです。ただ、観光に結びつけるには、歴史的背景を研究してから事業を企画したほうが良かったと思います。 手作りの甲冑を地域の中でどう活かしていくか、工夫を期待します。
16	松戸市政モニターOB「花草会」	もったいないツアー	松戸市の「もったいない運動」に添う形で、他の団体と連携した講座企画は評価できます。 ただ、何を成果としたのかはっきりしません。ツアーをやった後、その後どうするかが課題です。学んだことを地域で活かし、広げて欲しいと思います。